

令和5年度（2023年度） 県立日立第一高等学校附属中学校 自己評価表

【別紙様式2】

<p>目指す学校像</p>	<p>本校は、高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する学校である。                  そのために、様々な学習機会を提供し、各教職員がその専門性を活かし、組織的できめ細かな指導を行うとともに6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、次のような生徒を育成することを旨とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自ら課題を発見し、主体的に「やり抜く」ことのできる生徒</li> <li>2 物事を理性的に判断し、筋道を立てて議論できる生徒</li> <li>3 高いモラルと豊かな感性を持ち、リーダーシップを発揮できる生徒</li> <li>4 運動の楽しさや喜びを知り、自ら健康を管理できる生徒</li> </ol>		
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>重点項目</p>	<p>重点目標</p>	<p>達成状況</p>
<p>【学習指導・進路指導】                  【成果】                  ・第3回の学力推移調査において、県内参加中学校の平均点（3教科合計）との比較で、3年生+21.7、2年生+22.5、1年生+25.1と各学年ともに上回り、基礎基本は定着している。各学年とも学力差がみられる傾向がある。                  【課題】                  ・「主体的・対話的で深い学び」に向けたICTを活用した授業改善                  ・発展的な学習や補足的な学習に対応する課外学習の工夫                  ・中高連携授業の推進</p>	<p>1 高い志の育成</p>	<p>①6年間を見通した中高一貫校としての進路指導の充実（教務部、進路指導部）                  ②キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実（進路指導部、各学年）                  ③医学部進学等を意識した中高連携（進路指導部）</p>	<p>A</p>
<p>【生徒指導】                  【成果】                  ・基本的な生活習慣は定着傾向にあり、落ち着いた生活をしている。                  ・生徒の自主性を尊重した指導を実施することで、生徒の自主的・自律的な態度が定着しつつある。                  【課題】                  ・特別な支援が必要な生徒に対する理解の推進と、指導体制の整備。                  ・問題行動の未然防止及び早期発見、早期対応。</p>	<p>2 学力の向上</p>	<p>④「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価の見直し・学力向上を図るICTを活用した授業づくり（教務部、各教科） 「この授業を通して資質・能力が身に付いた」80%以上                  ⑤先取学習や学習の深化など附属中学校の教育内容について教科会の定期的な開催（各教科）                  ⑥サイエンスリテラシーの充実（SSH・教務部）                  ⑦特別な支援を必要とする生徒や成績不振な生徒に関する組織的な支援（各学年）</p>	<p>A</p>
<p>【国際教育】                  【成果】                  ・イングリッシュタイムやグローバルコミュニケーション、海外語学研修に向けての学習の実施により、英語に対する興味・関心が一層増している。英語の運用能力が伸びており、英検準2級以上の合格率も向上している。                  【課題】                  ・ブリティッシュ・ヒルズ語学研修・海外語学研修の充実。                  ・高校進学後の海外研修や留学等への啓発。</p>	<p>3 豊かな人間性の育成</p>	<p>⑧自主的・自律的な態度を育てる特別活動や学校行事の充実（特活指導部、各学年）                  ⑨教育相談や面談を通じた生徒理解及び生徒・保護者支援（教育相談部、各学年）                  ⑩道徳の学習を通じて心の教育の推進（道徳主任、各学年）</p>	<p>B</p>
<p>【科学教育】                  【成果】                  ・サイエンスリテラシーにより、研究のテーマ設定やデータの収集・分析等を学習し、基本的な研究の仕方を身に付けている。                  【課題】                  ・中高一貫校を意識した指導内容等の工夫・改善。                  ・科学的ディスカッションができるリーダーの育成につながる支援の工夫。</p>	<p>4 その他</p>	<p>⑪中高一貫教育の成果検証（教務部・進路指導部）                  ⑫業務の精選や改善を通しての教職員の労働時間の状況の改善（各校務分掌）</p>	<p>B</p>